

茨城県における8,000Bq/kg超の廃棄物保管量の変化の推計

- 平成27年12月末時点において8,000Bq/kg超の指定廃棄物等3,643.0トンを対象として、放射性セシウム濃度が時間経過に伴い8,000Bq/kg以下に減衰することを考慮して8,000Bq/kg超の廃棄物保管量の経年変化を推計
- 県内の8,000Bq/kg超の保管量は、事故発生時点から4年後で約2分の1、8年後で約10分の1になる

	8,000Bq/kg超の保管量の経年変化								単位:トン
	事故時点(平成23年3月)からの経過年数								
	4年後	5年後	6年後	8年後	10年後	15年後	20年後	30年後	
8,000Bq/kg超の廃棄物の量	1,689.0	1,026.5	690.3	279.8	78.3	0.6	0.6	0.6	
市町村数	10	9	8	6	4	2	2	2	

※現在の保管を続けた場合であり、可燃性廃棄物の焼却は考慮していない

※指定廃棄物については、16条、18条申請時のCs137濃度をもとに、事故時点のCs134:Cs137を1対1と仮定して、事故時点からの経過年数に応じた放射性セシウム濃度を推計して保管量を算定

一時保管場所毎の8,000Bq/kg超の廃棄物保管量の変化の推計

保管市町村	品目	平成27年12月末時点現在の保管量(トン)	8,000Bq/kg超の飛灰等の保管量の経年変化(トン)												
			事故時点(平成23年3月)からの経過年数												
			4年後	5年後	6年後	7年後	8年後	9年後	10年後	11年後	12年後	13年後	14年後	15年後	30年後
日立市	飛灰	1260.2	361.9	134.0	134.0	89.3	89.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
土浦市	焼却灰	97.0	97.0	97.0	97.0	97.0	97.0	97.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
龍ヶ崎市	飛灰	181.5	181.5	181.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
高萩市	稲わら	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4
北茨城市	飛灰	45.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
取手市	汚泥	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	0.0	0.0	0.0	0.0
牛久市	汚泥	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
ひたちなか市	飛灰	152.0	152.0	95.0	95.0	29.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	焼却灰	828.8	99.5	66.3	66.3	66.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
鹿嶋市	飛灰	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
守谷市	飛灰	611.0	514.1	396.4	241.7	137.4	90.4	75.2	75.2	38.0	38.0	0.0	0.0	0.0	0.0
かすみがうら市	飛灰	62.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
小美玉市	飛灰	16.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
茨城町	汚泥	226.7	226.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
阿見町	飛灰	159.4	53.1	53.1	53.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0